


審査結果報告書

平成 30 年 1 月 29 日

主 査 氏 名 長谷川 裕之 

副 査 氏 名 宇田 憲宗 

副 査 氏 名 山本 修司 

副 査 氏 名 五味 勉 

1. 申請者氏名 : DM14007 岡山 和代

2. 論文テーマ :

オントロジーを用いた栄養管理支援システムの構築とその評価に関する研究

3. 論文審査結果 :

超高齢社会の我が国において健康寿命の延伸と高齢者の QOL 維持が求められている。そのためには日常の栄養管理が重要であり、本人による自己管理と他者からの支援の両者が不可欠である。本研究では、栄養管理の質の向上を図るための情報システムに注目し、栄養管理支援システムにオントロジーという手法を新たに導入された。オントロジーは、使用される用語・概念を体系的に整理する情報科学の手法である。申請者は、栄養管理に関わる 4 つのガイドラインを対象にオントロジーを適用し、その結果に基づき、対象者記録支援システムと栄養指導支援システムから構成される栄養管理支援システムを開発した。その中で、ユーザインターフェースなどソフトウェア面の利便性についても一定の工夫がなされた。そして、本システムの有用性として、実務経験が少ない栄養管理士がその経験不足を補うという効果に着目し、経験年数の異なる栄養管理士を対象としてシステム評価を実施し、作業時間や使用した品詞の類似度という観点から結果が示された。

国際的な視点も含めた背景のもとで、栄養管理支援システムに情報科学分野のオントロジーという手法を新たに導入して実際に利用・評価できるシステムを開発したという点で、当該分野の専門知識に基づく先駆的な研究であると位置づけることができる。さらに、本システムの有用性を示唆する結果が示され、今後の課題や発展性についても考察がなされている。また、論文及び口頭発表はおおむね論理的で分かりやすく構成されており、質疑応答も的確であった。よって、本研究科・学位論文審査基準に鑑み、博士課程の学位論文としてふさわしいものと判断する。